

令和元年11月12日

西部農林振興センター 益田事務所 農業普及部

<b>標 題</b>	<b>学校給食用米贈呈式開催</b> ～昨年に引き続き「わくわくつわの協同組合」による米100袋提供～
------------	--

(ダイジェスト)

10月28日に「(農)おくがの村」ライスセンターにて、「わくわくつわの協同組合」が、昨年に引き続き、津和野町内の小・中学校に令和元年産コシヒカリを100袋(3t)無償提供することになり、贈呈式が開かれました。

「わくわくつわの協同組合」は平成21年に集落営農組織の広域連携型法人として設立され、「組合員の相互扶助」と「農用地の有効利用」の精神の基、農業機械の共同利用や燃油貯蔵所の運営など、農業振興だけではなく、地域振興・地域貢献にも積極的に取り組んでいます。

昨年からは、「わくわくつわの協同組合」を構成する各法人から米を合計100袋集め、津和野町内の小・中学校に無償提供を行っており、このような活動は県内でも例のない取り組みです。

今年も引き続き贈呈式が開かれ、各法人組合員(水稻生産者)、木部小学校全児童、関係機関など多くの人々が参加しました。

「わくわくつわの協同組合」糸賀理事長からは、「子供達には“島根県産”ではなく、“津和野町産”の米を食べてほしい」という想いのある挨拶や、“ここでしか聞けない授業”がありました。そして、木部小学校児童から歌のお礼があり、贈呈式終了後は芋煮の食事などが振る舞われるなどして、和気藹々とした式となりました。

普及部では今後も「わくわくつわの協同組合」の活動を支援していき、農業振興・地域振興・地域貢献に取り組んでいきます。

